

## 原子力防災訓練（冬季・暴風雪）の実施について

### 1 目的

平成28年10月に国の原子力防災会議の了承を受けた「泊地域の緊急時対応」に基づき、暴風雪により交通障害などが発生する中、原子力災害が発生する事態を想定し、こうした状況下における住民の防護措置に係る対応手順等を確認する訓練を実施する。

### 2 実施日時

平成29年2月4日（土） 9:00～15:40

### 3 主催

北海道、UPZ圏内13町村

※国との合同訓練として実施（原子力総合防災訓練の一環）

### 4 参加・協力機関

内閣府、原子力規制庁、国土交通省北海道開発局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面隊、原子力規制庁泊原子力規制事務所、北海道地方放射線モニタリング対策官事務所、北海道警察、岩内・寿都地方消防組合、北後志消防組合、羊蹄山ろく消防組合、（一社）北海道バス協会、小樽建設協会、（株）NTTドコモ北海道支社、北海道電力（株）

### 5 訓練想定

台風並みに発達した低気圧により、後志地方が前日から暴風雪に見舞われている中、運転中の泊発電所3号機において、何らかの事象により原子炉への注水機能が全て喪失し、全面緊急事態に至る。

### 6 主な訓練内容（予定）

- 緊急事態応急対策拠点施設（OFC）運営訓練
  - ・ 臨時OFCの開設（道庁地下1階危機管理センター）
  - ・ 臨時OFCから北海道原子力防災センター（OFC）への移転
  - ・ TV会議システムを活用した情報共有や意思決定
- 緊急時モニタリングセンター（EMC）運営訓練
  - ・ 臨時EMCの開設（原子力環境センター札幌分室）やOFCへの移転
- 住民避難訓練
  - ・ 避難道路の除雪
  - ・ 大雪で孤立した住宅からの要配慮者救助
  - ・ 住民のバス避難
- 安定ヨウ素剤の緊急配布（各戸配布）訓練
- ヘリコプターによる物資緊急輸送訓練